

発行：平成28年6月1日

いそざき陽輔新風会

大分市長浜町 2-12-10

TEL 097(535)8260

<http://isozaki-office.jp/>

大分県内における熊本地震対策について

4月14日(木)21時26分頃熊本地方で震度7の非常に大きな地震が発生しました。その後余震が続いていましたが、4月16日(土)未明の1時25分頃再び震度7の地震が発生し、大分県内も含め被害が大きく拡大しました。地震の規模では、阪神淡路大震災を超えるものと言われています。

大分県内では、震度6強であった由布市湯布院町、庄内町と別府市各地で大きな被害が生じるとともに、竹田市、日田市、玖珠町、九重町などでも被害が生じています。大分市でも震度5強の揺れがあり、近年に記憶がないことです。

今回の地震は、熊本県熊本地方、阿蘇地方及び大分県中部の各地域において異なる地震が発生し、かつ、余震が長く続いたのが特徴です。しかし、大分県では、4月29日以降県内を震源とする震度3以上の地震はなく、沈静化の気配が見られます。

熊本県と比べれば物的被害は小さいのですが、家屋、農地、公共施設の被害のほか、観光地が主な被災地であったためホテル旅館の宿泊客のキャンセルが続き、観光被害が甚大であることが大きな課題の一つとなっています。

私は、2回目の地震の当日に由布市に入り、市役所で首藤市長から災害概況を聞くとともに、直ちに最大の被災地である同市湯布院町で避難所の由布院小学校を訪ね、被災者を見舞うとともに、関係者から状況を聞きました。その後、町内を回り、瓦の落下やガラスの破損などの被害を受けているお宅を訪ねてお見舞いをしました。あわせて、陸上自衛隊湯布院駐屯地を訪ね、災害出動に当たる自衛官を激励しました。

翌日も、自民党大分県連で災害視察団を結成し、他の国会議員と共に再び由布市を訪れ、避難所のほか、ホテル旅館の被害状況などを視察しました。4月18日(月)から自民党の平成28年熊本地震対策本部が始まり、まず避難者対策を早急に講ずるとともに、大分自動車道別府速見間の早期開通を要請しました。あわせて、ホテル旅館に対する緊急融資の実施等を求めました。



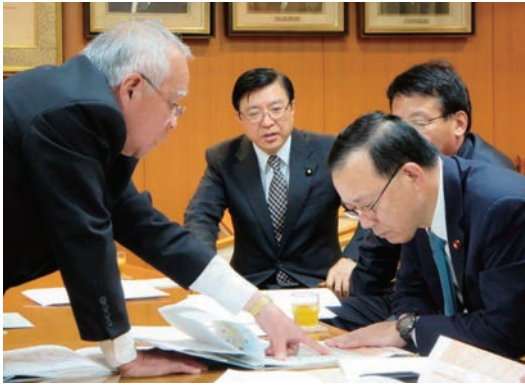
由布市で



阿蘇市で

4月23日(土)は、別府市に入り、被災したホテル旅館を回り、お見舞いをしました。その後、同市内の避難所を訪れ、被災者を激励しました。翌4月24日(日)は、熊本県に入り、阿蘇市や南阿蘇村の被災地を視察するとともに、活動中の自衛隊員を激励しました。

4月26日(火)は、姫野商工会議所連合会会長ら大分県の経済5団体の代表の皆さんと共に都内で要請に回り、自民党の谷垣幹事長や二階総務会長に面談するとともに、総務省自治財政局、国土交通省鉄道局・道路局、中小企業庁及



谷垣幹事長に面談



別府市で

び観光庁を訪ねました。5月5日(木)に再度由布市湯布院町に入り、町中を歩いて被災状況を尋ねました。

さらに、5月11日(水)に全旅連の井上九州ブロック会長らから観光被害対策の要請を受けました。その後、5月17日(火)の本会議で7,780億円の熊本地震対策の補正予算案を可決しました。5月29日(日)に、由布市庄内町に入り、家屋被害の実態を視察するとともに、り災証明の認定について意見を聴きました。

大分県内のみならず、九州全域で観光被害が拡大しており、個人客はやや戻ってきたものの、団体客や外国人客はまだ低迷しており、十分な対策を講ずる必要があります。観光クーポンの発行などが予定されているので、活用策を検討してまいります。

あわせて、家屋被害についてはより柔軟な対策が必要であると考えており、被害認定の一層の弾力化を図るなど被災者に寄り添った対策を講ずるため、自民党の熊本地震対策本部などで、引き続き、必要な発言を続けます。

こしょう はるともさんに 密着取材しました!



国政にかける熱い思いをひとりでも多くの皆様にお伝えしようと、こしょう はるともさんは、毎日、大分県内を駆け回っています。



御支援をいただいている企業の朝礼で御挨拶



早朝、通勤途中の皆様へ向けて、手ふり



支援者の皆さんと、心を込めて、しっかりと握手

こしょう はるともさんは、 「大分から5つの日本一」をめざします。

① 思いやりある社会日本一！

社会的に弱い立場にある方々、障がいのある方々などの切実な声を政治に強く反映させるために、これまでの弁護士としての豊富な経験を生かし、すべての大分県民のために、流した汗が必ず報われる社会・政治の実現をめざします。

② 健康長寿日本一！

高齢者の方々に生きがいと楽しみ、そして希望あふれる「生涯現役社会」と「健康長寿日本一」の大分をめざします。同時に、介護施設や人材の整備・育成・在宅介護の負担軽減など、仕事と介護が両立できる、「介護離職ゼロ」をめざします。

③ 雇用率日本一！

「アベノミクス」もいよいよ第二ステージを迎え、TPPの大筋合意により、世界のGDPの約4割を占める巨大経済圏が誕生しようとしています。このチャンスを最大限に活用し、大分県の農林水産業をはじめ、日本のあらゆる産業が、世界に活躍の場を広げていくことで大分・日本経済のさらなる活性化と、雇用の創出を図ります。

④ 住みやすさ・観光日本一！

私たちの郷土大分は、美しい自然にあふれ、何より日本一の温泉、さらには日本を代表する農産物・水産物・県産品が山ほどあります。

第二国土軸の早期完成を推進し、子供たち、孫たちに誇れる大分、そしてすべての県民の目が輝く大分を実現します。

⑤ 子育て支援日本一！

子供は、私たちの一番の宝です。生まれてくるすべての子供たちのため、働く女性の子育て環境づくりのために、法的整備をはじめ、あらゆるサポートで、子育て支援・女性の働く環境ナンバーワン大分をめざします。

新風会ひろば



大 参
たかがい恵美子決起大会で古庄氏らと



BS日テレ「深層NEWS」に出演



宇目すみつけ祭り幸重経営者協会会長と



九州各県のホテル旅館の代表の皆さんから要請



大分県の経済団体の皆さんと地震に関する要請活動



城下かれい祭りで工藤日出町長らと

自民党に入党して、磯崎陽輔を支えてください。

自民党では、現在、党员獲得運動を行っています。議員ごとに党员獲得目標が定められ、当支部は、1,000人とされています。

つきましては、磯崎陽輔が支部長を務める自民党参議院選挙区第一支部に入党いただき、磯崎陽輔の活動を支えていただくようお願いします。

また、既に党员になっていらっしゃる方も、是非とも御家族の入党に御協力をお願いします。

◆入党資格◆

- 1 わが党の綱領、主義、政策等に賛同される方
- 2 満18歳以上で日本国籍を有する方
- 3 他の政党の党籍を持たない方

一般党员 党費年額 4,000円
 家族党员 党費年額 2,000円

※入党申込書を送付させていただきますので、事務所まで御連絡ください。